

2023 夏休みおすすめ本 5・6年

『マンガでわかる世の中の「ウソ」から身を守る』

下村 健一／監修 学研プラス 361 マ

私たちの生活の中で起きてしまいそうなトラブルとその対処法を、マンガとイラストでわかりやすく説明をしています。むずかしそうなことも、気軽に知ることができます。情報があふれている現代では、「情報との正しい接し方」を知ることが大切です。長い夏休み、様々な「ウソ」のトラブルに巻き込まれないよう、身近な事例からみんなと学んでみませんか？

『しずかな魔女』 913イ

市川 朔久子／作 岩崎書店

図書館は不登校の草子の大切な居場所。そこで出会った一冊の本で、草子の人生が動き出す。キーワードは「しずかな子は魔女に向いている」。魔女になれたらすごくない？「しずかな子」じゃなくても、少しでも興味がわいたら今年の夏は草子と一緒に魔女修行をしてみよう。「よく見ること。そして考えること。」が、魔女修行の第1歩。

『親子で作れる!摩訶不思議なサイエンススイーツ』

太田 さちか／著 宝島社 407 オ

色が変わったりグラデーションができる不思議なゼリー、あたたかい場所においてもなぜか溶けないアイス、中からチョコレートやビスケットが飛び出すびっくりケーキなどなど。おいしいスイーツの中には、たくさんの科学がかくれています。あつい夏にピッタリな実験レシピもありますよ。楽しくお菓子を作りながら、身近な科学を体験してみよう！

『幸せの器』 913オ

おぎ ぜんた／作 坂田 泉／絵 偕成社

12歳のアイザックは、両親を亡くし、生活のすべてが変わってしまいます。兄妹とも離れることになり、アイザックはナイロビのスラム街に住むエミリーおばさんに引き取られることに。この地で必死に暮らすサミーやアリスたちに出会い、アイザックはスカベンジャー（ゴミ拾い）となります。少年たちの、生きる希望に満ちあふれた物語です。

『みらいおにぎり』 596ヒ 桜山 タミ／著 文藝春秋

93歳の料理家、タミ先生の楽しく未来を生きぬくためのとっておきのお話。タミ先生の生き生きした言葉に触れると、こんな大人になれたら人生楽しいな、と思えるかも？おまけに、おいしいおにぎりの作り方も覚えられちゃうよ。君もこの夏、おにぎりマスターになって、家族にごちそうしてみない？

『チャンス』 936シ 小学館

ユリ・シュルヴィッツ／作 原田 勝／訳

ユダヤ人の絵本作家・ユリ・シュルヴィッツの子ども時代を描いた本。4歳のときに第二次世界大戦が始まり、ユリは家族とともに、はてしない戦争をのがれ転々として過ごす。恐怖や飢え、病気で苦しむなか、ただひとつのなくさめは、絵を描くことだった。

『保健室には魔女が必要』 913イ

石川 宏千花／作 赤／絵 偕成社

「学校にはおまじないが必要だ」そんな言葉を残した魔女がいました。とある中学校の保健室の先生の本当の正体は…、なんと本物の魔女。今日も保健室には悩める生徒がやってきます。魔女は生徒それぞれが抱える悩みと心の声にしっかりと耳を傾け、それを解決する「おまじない」を授けます。



小川町立図書館